

# YAおすすめ ブックリスト



第28号  
2018.9 発行  
くにたち中央図書館

こんにちは、としぞうだよ！

「YA おすすめブックリスト」第28号は…  
8月7日にくにたち中央図書館で開催した  
体験型謎解きイベント「本どろぼうをさがせ！」の報告号です！(\*´▽`)/+\*。：°

イベントの実行委員であるYA すたっふは、  
数ヶ月間に渡ってイベントの準備を進めてき  
ました。学校の勉強や部活などで忙しい中、  
イベントの世界観やシナリオ、問題を作り上  
げていくのは予想以上に大変でした。

でも！ すたっふは決して弱音を吐かず、イベ  
ント直前まで準備に打ち込みました。

「謎解きをめいっぱい楽しんでもらいたい」  
「参加した人に図書館のことを知ってもらえ  
たら嬉しい」

そんな気持ちを胸に、YA すたっふが一丸とな  
って取り組んだ今回の謎解きイベント。

当日の様子は…下の報告を見てね☆  
裏面はおすすめ本の紹介です。

暑さも和らぐ秋こそ、読書しよう！



## 体験型謎解きイベント

# 「本どろぼうをさがせ！」を開催しました！



ストーリー仕立てで進んだ今回のイベント。YAす  
たっふによる寸劇から始まりました。イベントにご  
協力いただいた「国立本店」さんが作ったオープ  
ニング映像を見ながらYAすたっふの熱演を楽しん  
でもらった後、参加者には3つのグループに分か  
れて謎解きをスタートしてもらいました。解いて  
もらう謎は、1グループ10問。館内に散りばめ  
られた謎は、なぞなぞ問題から図書館の本を使  
って調べるレファレンス問題まで、内容は多岐  
に渡っていました。

BGMが鳴り響く休館日の図書館で、謎解きに  
奔走する参加者の顔は真剣そのもの！館内に  
隠されたヒントを探したり、図書館の本を使  
って調べたり、YAすたっふに相談してみたり…  
制限時間の90分は、あっという間に過ぎてい  
きました。

イベントの最後は、またまたYAすたっふの寸  
劇！エンディング映像を見終え、拍手喝采の  
うちにイベントは無事終了となりました。

参加者の皆さん、本当にお疲れさまでした  
&ありがとうございました！



8月のYA おすすめ本コーナー（中央図書館1階）は、一橋大学の古本リユースサークル「チーム・えんのした」のメンバーが選んでくれた本を展示しました。

テーマは、「読書でアウトドア～あなたは山派？海派？」。皆さんはこの夏、海や山には行きましたか？ぼくは、山にはリアルで、海には読書で行きました！！

今回は、えんのしたさんのおすすめ本の中から、秋にもおすすめの本を紹介します！

# 一橋大生 のおすすめ本

『春を背負って』 笹本稜平/文藝春秋/2011

—不幸ってのは  
人間を育てる肥やしなのかもしれないね



山小屋を舞台とした連作短編小説。仕事に挫折した亨、ホームレスのゴロさん、自殺願望の美由紀。彼らを中心とした人間模様や自然の厳しさ等が描かれた作品。ゴロさんの哲学っぽい言葉が楽しめます…！

## 神去(かみさり)シリーズ

携帯圏外の山奥で…  
いきなり…林業！？

『神去なあなあ日常』 /2009

『神去なあなあ夜話』 /2012



三浦しおん/徳間書店

## 『十角館の殺人』 綾辻行人

/講談社/2008

大学の推理小説研究会のメンバーが、無人島の十角館へ合宿に来た。半年前の事件で屋敷の母屋が焼け落ち、住人は死に、今では、離れである十角館と松林があるだけの小さな島だ。

合宿へ出かけた彼らの家に、手紙が届く。差出人は死んだはずの屋敷の持ち主、中村青司。

「お前たちが殺した千織は、私の娘だった。」早く結末を読んでほっとしたい、でも読み進めるほどにこわくなってくる…。秋の夜長にぴったり、背筋がぞくとするミステリーです。



山が舞台の本、たくさんあります！

孤高の人 (上・下)

新田次郎

灰色の北壁

真保裕一

神々の山嶺 (上・下)

夢枕獏

山女日記

湊かなえ

山のおすすめ文は、

「チーム・えんのした」のメンバーが書いてくれました！



## 10月の中央図書館YAミニコーナーは、 ★読書週間★

終戦からまもない1947年、「読書ので平和な文化国家をつくろう」と読書週間が始まりました。いつも手に取らない分野の本も、ぜひ読んでみてください。

本を読むと、お得なことも！ぼくは、一度も書いたことがなかった漢字をテストで書けたことがあるよ！

読書週間は10/27(土)～11/9(金)です。